

ごとう通信

第 41 号

平成 16 年 5 月 1 日

「風薫る五月」とはよく言ったもので、気持ちのいい感じを表現できる言葉があるなんてすごいなあと改めて感じています。皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

「ふれあい歯科ごとう」の開業は昨年十二月一日、冷たい雨の日でした。あれからすでに半年を迎えようとしています。早いものです。

外来診療の方は数多くとは言いませんが確実に増えています。特に、遠方から来ていただく方が多く、私たちとしてはうれしいばかりです。もちろん、それだけ責任重大ということなのですが。

また、先日は思わずニヤニヤするシーンがありました。若いお母さんが4ヶ月のお子さん連れで受診され



盛り上がったシネサロンの1コマ

ました。その時、高齢の方も二人診療に来ておられました。そのうちの一人の男性はいつも無表情でどこか怒った顔つきなのですが、その赤ちゃんを見た瞬間、今まで拝見したことのないような笑顔でニツコリ。世代を超えたふれあいって素晴らしいですね。訪問の方では、介護保険を利用したサービスが充実してきた点でしょう。実は、開業当初はどうなることやらと思っていたのですが、歯科衛生士でケアマネでもある原口さんの奮闘により、

なんとか形ができてきました。そしてもう一つ、ミニサロン「なごみ」の方

はと言うと……。予想以上に楽しんでいきます。紙ひもクラフトや手話はレギュラーメンバーが定着し、初の夜サロン、「シネサロン」も大変盛り上がりました。とにかく多くの方が歯の治療以外でも来ていただけるとはうれしいことであり、私たちの目標でもありました。何せうちは「ふれあい歯科」なのでですから。

口から食べること

四月十一日(日)、藤沢市民会館で「もう一度口から食べたい！〜胃ろうがあっても食べられる!?」というセミナーで講演をしました。時間は一時間と短かったのですが、800人もの聴衆があり、すごく気持ちよくお話しすることができました。とにかく驚いたのは、皆さんが熱心と言うこと。病院で「チューブが入っているんですからもう口からは食べられません」という宣告を受けた